

学校の危機管理体制の整備

非常変災等への適切な対応について、教職員で共通理解を図るとともに、外部対応や情報管理等、今日的な危機管理体制の整備充実を促進する。

学校における危機管理体制が充実し、児童生徒や家庭への対応に関する職員の共通理解と周知が図られる。
外部との対応や情報管理など、今日的課題への適切な対応の体制整備が図られる。

研修会の実施



教頭・中堅教員研修会における危機管理研修の実施
生徒指導担当者・情報教育担当者への危機管理研修の実施



各学校での伝講・周知

学校問題解決への支援

指導主事を派遣しての支援・助言
関係機関や専門機関との連携支援
ケース会議開催に向けた調整



学校でのトラブル



学校における実践の継続

危機管理マニュアルの作成・点検・修正と職員間の共通理解
マニュアルに従っての訓練の実施と評価

児童生徒対象・・・火災、地震、不審者対応、保護者引き渡し など

職員対象・・・保護者対応、マスコミ等外部対応、情報管理、連絡連携 など
管理職等の研修参加と現職教育の実施
情報の発信と関係機関との連携体制構築



非常変災への対応は、全職員が共通理解し、行動できるような備えが必要
宮城県沖地震の発生が近い将来に予想されており、対応が急務
外部からのクレーム等への対応や情報管理など、新しい危機管理対応が必要
校内での体制整備のため、管理職や中堅教員の研修が必要

指標と年度達成目標

指標	単位	19	20	21	22	23
教頭・中堅教員研修会参加者のべ人数	人	880	900	—	—	▶
必要に応じ学校問題解決チームの設置	-	-	実施	—	—	▶
ケース会議の開催	-	-	実施	—	—	▶